坂ろうだより

第１１号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和８年３月２日

「自分らしく　歩んでいこう！」
～力強く羽ばたいてくれることを願って～

校長　桑原　智子

梅や菜の花が咲きそろう季節となり、いよいよ高等部８名、中学部９名、小学部５名、幼稚部５名が卒業を迎えます。私は令和３年に着任し、卒業生の成長を５年間見届けてきました。特に高等部生は、乳幼児教育相談（ひよこ）から通い始め、１８年間の大半を本校で過ごしております。親子で通ったひよこ・幼稚部時代、手話でたくさんおしゃべりをした小中高時代、そして保護者も「手話勉強会＝ひびき会・手話ろう会」を企画運営し、一生懸命手話を学んできた時代を歩んでこられました。子供達の成長と保護者の皆さまの深い愛情と努力に大きな拍手を送ります。

本校は、一人一人を大切に、丁寧にかかわりながら教育活動を進めております。
「井の中の蛙大海を知らず　されど空の青さを知る」
このことわざは、井戸の中にいる蛙が大海の存在を知らず、自分の狭い世界を全てだと思い込み、視野の狭さや限られた知識にとらわれることを戒める意味があります。でも、井戸にいても自分なりに空の美しさや広さを感じることができる、限られた環境の中でも価値や美を見出せる前向きな意味があります。ぜひ、ろう学園というアットホームな環境で育ったこと、手話で表現豊かにコミュニケーションが取れることを誇りに、次のステップでも活躍してくれることを期待しています。在校生のみなさん、受け取ったバトンを胸に、新しい坂戸ろう学園を築いていってください。保護者の皆さま、１年間、そしてこれまでの温かなご支援に深く感謝申し上げます。卒業生の皆さんのこれからのあゆみに、たくさんの幸せが訪れますように祈っております。

豆まき会（幼稚部）１月２９日（木）、２月３日（月）

１月29日（木）と2月3日（火）に幼稚部の園庭に赤鬼と青鬼がやってきました。この時に備えて、各学年では事前に「やいかがし」作りや豆まきの練習など、節分に関わる活動を行ってきました。

鬼を前にして泣き出してしまう子や鬼に連れていかれそうになる子もいましたが、練習の成果を発揮して、「おにはそと」と豆を投げて、無事に鬼を追い払うことができました。みんなよくがんばりました。

豆まきの練習

泣かしちゃった（汗）

おにはそと！

１年間を振り返って

4/9（水）入学式

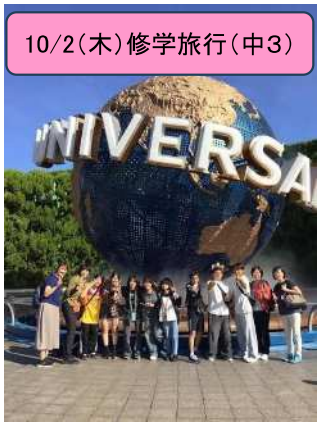
5/24（土）運動会・体育祭

6/5（木）職場見学

7/19（土）第一住宅夏祭り

8/7（木）関東大会優勝（野球部）

9/11（木）修学旅行（小6）



10/2（木）修学旅行（中3）

空手(組手)　小倉　涼　教諭　金メダル獲得

10/31（金）あゆみ祭

11/24（月）デフリンピック観戦

12/11（木）中高マラソン大会

1/16（金）もちつき会

1/23（金）修学旅行（高2）